



中央地区社会教育情報誌「つなぐ」No.60号をお届けします。

前々回の58号から、県教育庁生涯学習課の中央地区における取組と中央地区9市町村が今年度重点事項として取り組んだ事業等について紹介しております。

今回号では、**潟上市・男鹿市・由利本荘市・八郎潟町**・県教育庁生涯学習課の取組を紹介します。

潟上市

令和7年度潟上市文化祭

潟上市では、10月25日（土）、26日（日）の2日間、市民センターかたりあん・天王館にて、文化祭を開催しました。

10月25日は市民参加型ミュージカルの公演、10月26日は潟上市芸術文化協会加盟団体等による芸能発表を行いました。絵画や手芸などの作品展示やかたがみ写真展、茶道体験コーナーなどは両日行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。

目玉イベントの市民によるミュージカル『リキノスケと巡る北国の祭り』は、郷土の偉人石川理紀之助が農業指導のため東北・北海道を巡った際に、その旅先で出会った祭りや人々との交流を歌と踊りを交えて描いたミュージカルです。（市民7名、中学生4名出演）

ソーラン節や竿燈まつりのほか潟上市の踊り『鷺舞新鷺』も上演され、天王中学校生には『東湖八坂神社山太鼓』を演奏していただきました。劇団わらび座の指導の下、5か月に及ぶ練習を重ねてきた市民とわらび座団員による熱演に、会場からは大きな拍手が送られました。

今後も本市では、市民の皆さんが積極的に参加したいと思えるような文化祭を企画していきたいと思えます。



【市民ミュージカルの様子】

男鹿市

秋田県中央地区社会教育委員研修会の開催、
地域と連携した図書コーナーの開設

①秋田県中央地区社会教育委員研修会の開催

中央地区の社会教育委員等 21 名が、2024 年に開所した洋上風力発電事業に関する訓練センター「風と海の学校あきた」の見学と操作体験をしました。

男鹿ならではの話題性のある内容を企画し、社会教育委員としての資質向上と、相互の連携を深める機会となりました。



【最新の操船シミュレーターを操作する様子】

②地域と連携した図書コーナーの開設

今年度、男鹿市内 4 か所に図書コーナーを開設しました。

男鹿みなと市民病院の待合室には、閉校となった図書室のマンガや図鑑、男鹿駅の観光案内所には男鹿の文化やジオパーク関連本、がんサロンには、病気や薬の専門書や食事療法の本、そして、無印良品店舗内のカフェスペースには、小説や絵本を設置しました。

小学校の冬休み中には、無印良品と連携し、「ALT による英語でおはなし会 in 無印良品」を開催しました。

今後も地域に根付いた図書の推進を図ってまいります。



【英語でおはなし会の様子】

由利本荘市

大人の登校日～今日だけ小学生～

平成 25 年から始まった事業で、毎年度 3 回ずつ開催されています。この事業は一般市民を対象に、一日だけ小学生に戻り、現在の小学校で行われている授業を体験してみようという企画です。内容は、国語・理科・算数・英語・図工・道徳・社会などの通常の教科書や教材を使ったものから体験型学習まで多岐にわたります。

講師の先生は、主に元教員の方々をお願いしていますが、団体やサークルの方々に講師をお願いすることもあります。

令和 7 年度の第 2 回目は、12 月 17 日(水)に岩城少年自然の家を会場として、「レクリエーション活動」と「門松作り」を体験しました。カリキュラム(授業内容)については、岩城少年自然の家の伊藤先生にすべてをお任せし、当日は他の先生方にもスタッフとして授業をサポートしていただきました。

第一部の「仲間作りゲーム」では、参加者がジャンケンやフラフープを使ったゲームを通して、交流の輪を広げようという内容でした。

第二部の「門松作り」では、正月も近いということで、卓上用の門松を製作しましたが、やはり製作した人の個性が出たようで、どれも世界に一つだけの力作となり、参加者同士で見比べていました。

次回(第 3 回目)は、由利本荘市にある鳥海山 木のおもちゃ館にて、国語を楽しもう!「日本語って素晴らしい」と音楽の授業で「子どもの頃に歌ったあの歌をもう一度歌ってみませんか!」の二本立てでの開催を予定しています。



【レクリエーション活動の様子】



【世界に一つだけの卓上用門松】

①としょかん 86 カフェ#46「ミニおはなしコンサート&多世代読書会」開催

昨年 11 月 12 日（水）、休館日の図書館閲覧室を会場に、八郎潟中学校の全面的ご協力の下、2 部構成で開催しました。

のべ 42 名の老若男女が参加し、図書館空間の新たな楽しみ方を体験しました。

第一部のミニおはなしコンサートでは、同中学校吹奏楽部の演奏に始まり、音読会受講生による詩の朗読（ギター生演奏 BGM 付）、ハーモニカ風による演奏と、図書館がコンサート会場になりました。また、第二部の多世代読書会では、6 テーブルに同中学校ビブリオバトルコースの生徒たちと本好きな地域の大人たちが 4 人ずつ座り、それぞれおすすめ本を紹介しました。本を通じた楽しい交流の場となりました。



【多世代読書会の様子】

②記録紙芝居「八郎潟の漁師さんたち～船曳き網漁を伝える～」完成

この記録紙芝居は、昭和 30 年代、干拓前の八郎潟で盛んに行われていた「船曳き網漁」を描いています。絵は、網元の子として生まれ育った本町の安田勝次氏が自身の記憶を基に 12 枚の水彩記録画にして描いていたもので、この貴重な記録を紙芝居にして後世に伝えていきます。

県教育庁生涯学習課

中央地区市町村教育委員会計画訪問

昨年 10 月下旬から 12 月上旬にかけて、中央地区 9 市町村教育委員会の生涯学習・社会教育主管課室を、県生涯学習課中央地区担当者が訪問させていただきました。

各市町村の今年度の事業計画の遂行状況や中央地区社会教育の重点（①学びを支える体制の整備、②学びを進める計画の遂行）に係る取組状況をお聞きした後、各市町村から提示された協議項目について協議しました。

協議題として設定した理由をお聞きした後、今回は付箋紙を使用しての協議を行い、多くの参加者の皆さんから意見をいただくことができました。

現状と今後を見つめるとともに、その障壁となっている課題に向けた解決方法について、たくさんのアイデアや発想が出され、活発な意見交換をすることができ、充実した時間となりました。

終わりの各市町村教育委員会の挨拶の中で、

「たくさん職員の声をお聞きすることができました。また、現状と今後を考えながら取り組んでいくことが大切だと思いました。」

「他課との連携は進んでいるものの、ニーズが本当にそこにあるのだろうか？を大切に組み込んでいきたいと思えます。」

「今日の協議で、こんなこともできるんだとか職員が少なくとも可能だと思えるようになりました。」

などの言葉をいただきました。

今回の協議が、次年度の取組を検討する際の参考となれば幸いです。

ご対応くださった職員の皆様、お忙しい中ありがとうございました。



【付箋紙を使った協議の様子】

【各市町村での主な協議内容】

市町村	協議項目	協議において話題になった主な内容
秋田市	高等教育機関との連携事業について	・高等教育機関と継続的に連携するには
男鹿市	他市町村と講座運営情報を共有し、相互参加や有効活用を進める	・市内各公民館および近隣市町村との連携を強化するには
潟上市	地域課題の把握方法、地域との関わり方	・公民館講座の見直し ・趣味的講座を集約し、地域課題に対応した講座等を企画するには
五城目町	誰もが生涯にわたって学び続けるための環境整備	・各公民館の重複した取組や事業格差を見直し、持続可能な施設にするには
八郎潟町	住民のニーズや地域課題に応じた学びの場の提供	・より住民ニーズを踏まえた学びを充実させるには
井川町	各種媒体を活用し、ターゲットを意識した情報発信に努める	・全ての世代に届く効果的な情報発信の在り方 ・若手、現役世代を引き込む事業を計画するには
大潟村	地域課題解決に向け、地域資源を生かした体験活動プログラムを提供する	・公民館事業をアップデートし、昭和から続く内容や部局等との重複した内容を令和に見合った内容にするには
由利本荘市	他地域等との交流・連携の推進	・各公民館の重複した取組や事業格差を見直し、持続可能な施設にするには
にかほ市	地域づくりを支える人材の養成と育成	・社会教育に関する各種会議や人材を、市の社会教育行政のシンクタンクとして役立てるには